

別紙

< 農業参入法人連絡協議会 研修会・意見交換会等開催要領 >

平成 19 年 6 月
農業参入法人連絡協議会

1. 日 程

平成19年8月30日(木) 13:00~ 31日(金) 13:00頃

【1日目】8月30日(木) < 研修会・意見交換会 >

13:00~ 13:20 開会・あいさつ

13:20~ 15:00 研 修 (テーマはいずれも仮題)

テーマ1 : (株)セイソー・奥村晃社長(石川県河北潟干拓地)
「野菜の卸・加工から野菜づくりのモデル経営を」
(一般企業の参入事例)

テーマ2 : (有)良品工房・白田典子社長
「売るより買う方がむずかしい」
(~生活者の声を食品メーカーや小売店に~)

15:00~ 15:10 休 憩

15:10~ 15:50 研 修

テーマ3 : 「農地政策の見直しをめぐる状況」等(農林水産省)

16:00~ 17:00 意見交換会

(農業参入法人による意見交換の場)

(終了後、別会場にて懇親会を開催予定(会費制・希望者のみ))

【2日目】8月31日(金) < 現地視察(茨城県下) >

取手市・(有)シモタ農芸(霜多増雄社長、ハーブ栽培、07年日本農業賞
大賞受賞)

つくば市・「みずほの村市場」((株)みずほ(長谷川久夫社長)が運営
する生産者直売所)

9:30 つくばエクスプレス「守谷」駅集合、バスで移動

9:45~ 10:45 「シモタファーム」視察

移 動

11:30~ 12:00 「みずほの村市場」視察

昼 食(みずほが運営する「蕎麦」で昼食=予定=)

13:00 移 動

13:10 つくばエクスプレス「万博記念公園」駅で解散

13:25 区間快速で秋葉原へ(秋葉原着 14:11)

詳細な日程等については調整中です。

2. 場 所 「蚕糸会館」6F第1会議室(地図参照)

〒100-0006 千代田区有楽町1-9-4

(最寄駅) JR有楽町駅、地下鉄日比谷駅・有楽町駅

3. 参加費

研修内容充実のため、参加者に費用の一部負担をお願いしています。

研修会 会 員 2,000円(会場費、講師旅費等の一部)

非会員 3,000円(同)

現地視察 一 律 2,000円(2カ所の視察料)

4. 参集範囲

- ・本協議会会員
- ・農業参入法人で本協議会への加入を検討、希望する者

< 会場地図 >

蚕糸会館(さんしかいかん)



< 本件に関するお問い合わせ先 >

農業参入法人連絡協議会 (事務局: 全国農業会議所農地・組織対策部(清野))

TEL: 03-5251-3904 FAX: 03-3507-3081

メールアドレス: agricorp_net@nca.or.jp 又は e_seino@nca.or.jp

< 講師・視察先等の概要 >

1. 株式会社セイター（奥村 晃社長）

石川県河北潟干拓地（津幡町）において、特定法人貸付事業（リース特区）により社団法人石川県農業開発公社から農地を借り受けて野菜づくりに取り組んでいる。前身の3つの会社を統合して1993年に設立（資本金9,100万円、従業員170名）。会社の事業は野菜の卸と加工が中心で、全国に約500戸の契約農家と契約栽培も行っている。全国から野菜を集めて、市場を通さず、直接、スーパーやレストランへ卸している。野菜農家の経営として成り立つモデルを示したいということから、農業に参入した。

2. 有限会社良品工房（白田 典子社長）

広告会社、マーケティング会社での経験や専業主婦生活での試食と実食の評価の違い体験から、1994年（有）良品工房を設立。食品流通の現場を初めて経験し、「消費者不在」を痛感。2001年より、づくり手・売り手・買い手をつなげる活動「いいものプロジェクト」を推進している。づくり手への提案としては、開発段階の食品モニタリング調査や井戸端会議、食品メーカーの新商品開発支援など、また、売り手への提案としては、スーパーマーケットでの買い物行動を探る井戸端会議、百貨店へのお中元・お歳暮用ギフト商品企画などがある。

3. 有限会社シモタ農芸（霜多 増雄社長）

1990年に生産部門である「有限会社シモタ農芸」と販売部門である「株式会社M & Yシモタファーム」を設立した。約6haでハーブ生産に取組み（取手農場、那須塩原農場）、シモタファームの販売額は年間約3億円に達している。霜多社長がハーブ生産を手がけたのは、約40年前。ヨーロッパを放浪していたときの食事にハーブが使われていたのを、いずれ日本でも食事の洋風化が進むと考え、帰国後ハーブ作りに専念した。有機完熟堆肥による土づくりや作物検査に取り組むなど、土壌やハーブの科学的分析をもとに、消費者に安心してもらえるハーブ作りに取り組んでいる。07年日本農業賞大賞を受賞した。

4. 株式会社みずほ（「みずほの村市場」）（長谷川 久夫社長）

1990年に「有限会社みずほ」を設立し、地元の農家を会員とする農産物直売所「みずほの村市場」を開設した。生産者は「ものづくりのプロにはなれても販売のプロにはなれない」ところから、地元の生産者の生産した農産物を、農家が再生産できるような適正価格で農家が値決めすることにより販売する仕組みをとっており、販売額は年間約4億円。「飽食の時代」といわれ、大量の農産物・加工食品があふれる中、人々の真の健康や安心を考えた「本物の農産物」を提供することを第一に考え、「質のよい農産物」づくりを会員に働きかけてきた。06年5月には、直売所をフランチャイズ（FC）展開するための会社「農業法人みずほの村市場合同会社」を設立した。併設する「蕎麦舎」も水車で引いた地粉の本物のそばを打つ店として訪れる人が絶えない。

< 視察先概略図 >



みずほの村市場

シモタ農芸

【参 考】「つくばエクスプレス」時刻表

< 下り >

	快 速	区間快速	区間快速	快 速	
秋葉原	8 : 25	8 : 31	8 : 39	9 : 01	
守 谷	8 : 58	9 : 06	9 : 14	9 : 34	

< 上り >

	区間快速	快 速	区間快速	区間快速	普通 / 快速
つくば	12 : 18	12 : 41	12 : 48	13 : 18	13 : 30
万博記念公園	12 : 25	-	12 : 55	13 : 25	13 : 36 (守谷乗換)
秋葉原	13 : 11	13 : 26	13 : 41	14 : 11	14 : 26